権利獲得例

・下記は例として選抜大会を３大会のみで掲載しています。（あくまで一例です）
・チャンピオンシップ本戦で優勝･準優勝した選手は無条件で翌年の出場権が与えら権利者として登録されます。
・ベスト４に入賞した選手は権利獲得者として登録されます。
・特別枠の選手は規定の開催期間に県大会以上の上級クラスで優勝した選手に限ります。

選抜大会Ａ
開催４月

ベスト４
Ａ選手　Ｃ選手
Ｂ選手　Ｄ選手

※権利獲得者４名
Ａ選手Ｂ選手Ｃ選手Ｄ選手

選抜大会Ｂ
開催５月

ベスト４
Ａ選手　Ｅ選手
Ｂ選手　Ｆ選手

※繰り上がり権利獲得者Ｇ選手Ｈ選手

この場合Ａ選手、Ｂ選手は既に選抜大会Ａにて出場権を獲得しているため、権利重複となり準々決勝で対戦したＧ選手、Ｈ選手が繰り上がり権利を獲得します。前年度のチャンピオンシップ優勝･準優勝者が出場し、入賞した場合も権利の繰上げが行われます。

※権利獲得者４名
Ｅ選手Ｆ選手Ｇ選手Ｈ選手

選抜大会Ｃ
開催６月

ベスト４
Ａ選手　Ｋ選手
Ｊ選手　Ｆ選手

※繰り上がり権利獲得者Ｌ選手

この場合Ａ選手は選抜大会Ａ、Ｆ選手は選抜大会Ｂにて出場権を獲得しています。Ｆ選手と準々決勝で対戦したＬ選手は繰り上がり権利を獲得しますが，Ａ選手はシードのため繰り上がり選手は発生しません。

※権利獲得者３名
Ｌ選手Ｊ選手Ｋ選手

特別枠
県大会、全国大会クラス以上の上級クラスの優勝者のみ

・前年１０月～開催年９月までの大会に限る
※２６年開催の大会に出場する為には２５年１０月～２６年９月中に開催された大会での優勝歴が必要
・特別枠は基本的に未開催地区の選手の救済措置として作られた制度です。開催地区の選手は選考漏れをする可能性があります。
・基本的に各クラス１名となります。

全日本ジュニアチャンピオンシップ大会

出場権利獲得者１１名
A,B,C,D,E,F,G,H,J,K,L 選手

＋

特別枠出場選手（各クラス１名）
前回大会 入賞者（表彰対象者）